

【調査目的】本調査は、中小企業退職金共済（以下、「中退共」という。）加入企業における加入経路及び加入状況の実態について把握するとともに、事務手続等に対する要望等を調査し、サービス向上及び今後の中退共のあり方を検討する基礎資料とする。

【調査対象】中退共に加入している共済契約者の中から6,000社を抽出

【調査方法】郵送配布、郵送回答ならびにWEB回答

【有効回答】3,754件（郵送回答：1,053件、WEB回答 2,701件） ※回収率：62.6%

【調査期間】令和6年（2024年）10月11日（金）～12月6日（金）



調査結果サマリー

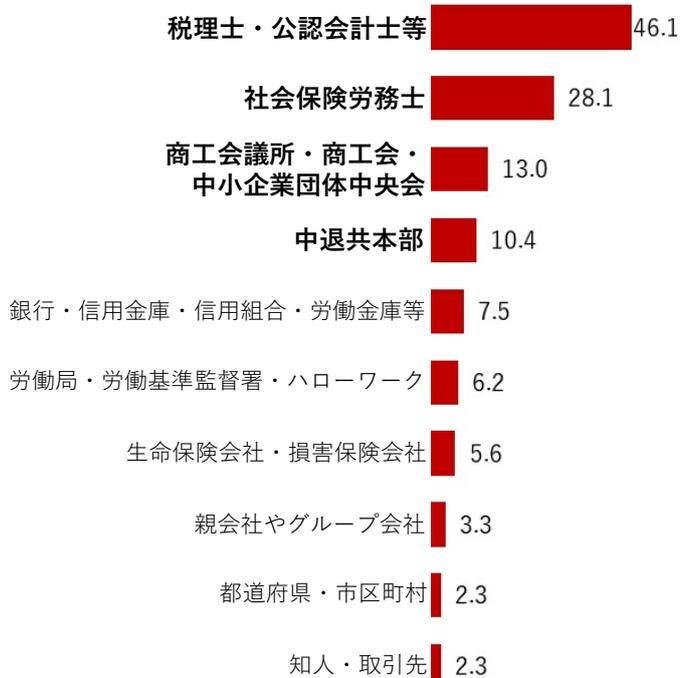
中退共について	① 退職金制度の導入経緯・内容	<ul style="list-style-type: none">○退職金制度などについての相談先・情報収集メディア ▶P2へ 相談先は「税理士・公認会計士等(46.1%)」、情報収集メディアは「インターネットで検索(62.5%)」が最も高い。○導入目的 ▶P2へ 導入目的は「従業員の生活の安定」「従業員の慰労」が60%超え。○退職金制度の利用状況 ▶P3へ 中退共と他制度を併用している割合は20.6%。	退職金制度は従業員の安心だけでなく、モチベーションの向上や人材の定着にもつながります
	② 中退共制度について	<ul style="list-style-type: none">○中退共制度の魅力 ▶P4へ 「退職金が確実に支払われる(79.7%)」→「掛金が全額非課税になる(49.0%)」→「掛金を毎月払い込むだけで退職金制度を持つ(39.1%)」の順に高い。○中退共制度の導入効果 ▶P4へ 求人時に退職金制度をアピールする契約者が50%弱。	「確実な支払」、「金銭面のメリット」、「軽い事務負担」が魅力です
	③ 確実に退職金をお受け取りいただくために	<ul style="list-style-type: none">○「加入通知書」の配布有無 ▶P5へ 「渡している」割合は75.9%で改善傾向。残りの23.7%は「紛失を防ぐため(44.8%)」、「会社で保管するものと思った(41.9%)」を理由に渡していない。○「加入状況のお知らせ」の配布有無 ▶P5へ 「渡している」割合は72.3%で改善傾向。残りの26.9%は「会社で保管するものと思った(45.3%)」、「紛失を防ぐため(35.4%)」を理由に渡していない。	加入通知書と加入状況のお知らせは従業員の皆様にお渡しください
	④ ホームページについて	<ul style="list-style-type: none">○ホームページの利用実態 ▶P6へ 「ホームページ(PC版)」の認知率は80.3%、利用率は35.0%。リニューアル後の直近「1年以内」の利用が70.4%。○ホームページの使いやすさの評価 ▶P6へ 必要な情報の見つけやすさは87.3%が評価。説明のわかりやすさは75.4%が評価。	リニューアル後のホームページは使いやすくなっています
	⑤ 加入企業のご意見	<ul style="list-style-type: none">○手続きに関するご意見・ご要望 ▶P7へ 多いのは「加入申込手続き(38.4%)」、「掛金月額変更(36.2%)」、「退職手続き(33.7%)」。○その他制度へのご意見・ご要望 ▶P7へ 多いのは「役員加入の容認(21.1%)」、「安心安全な資産運用(12.2%)」、「懲戒解雇者への退職金支給取り止め(11.4%)」。	安心して利用しやすい制度を目指します

相談先・情報収集メディア (2024年)

退職金制度など福利厚生についての相談先は、**税理士・公認会計士が半分近く**
 退職金制度などに関する情報収集メディアは、**インターネットで検索する方が60%強**

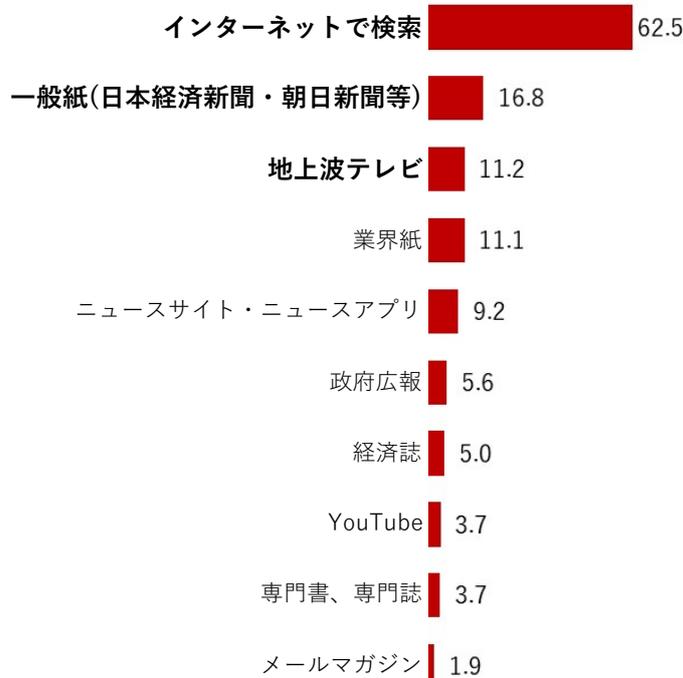
退職金制度などについての相談先 TOP10

(複数回答、%)



退職金制度などに関する情報収集メディア TOP10

(複数回答、%)



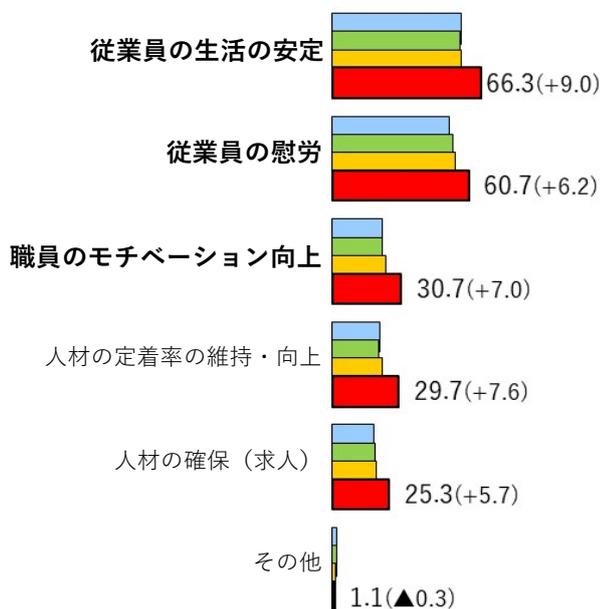
導入目的

■ : ※3年前 (2021年%) ■ : ※前々回 (2022年%) ■ : ※前回 (2023年%) ■ : 2024年%

導入目的は「従業員の生活の安定」と「従業員の慰労」が多い
 「職員のモチベーション向上」と「人材の定着率の維持・向上」も前年より大幅増

退職金制度導入の目的

(複数回答、%)



退職金制度は
従業員の安心だけでなく、
モチベーションの向上や人材の定着
 にもつながります



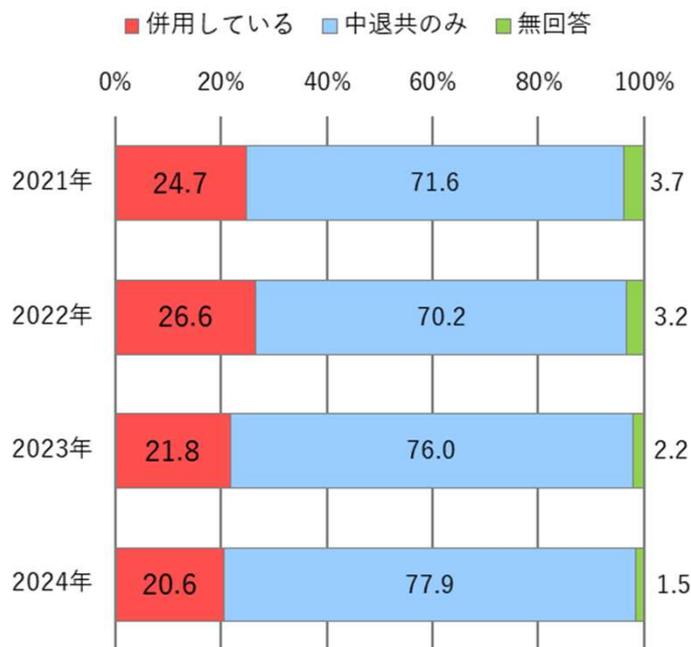
退職金制度の利用状況

■ : ※3年前 (2021年%) ■ : ※前々回 (2022年%) ■ : ※前回 (2023年%) ■ : 2024年%

中退共と他制度を併用している契約者は約20%
併用理由は「中退共のみでは退職金の目標金額に到達しないから」が引き続き最多

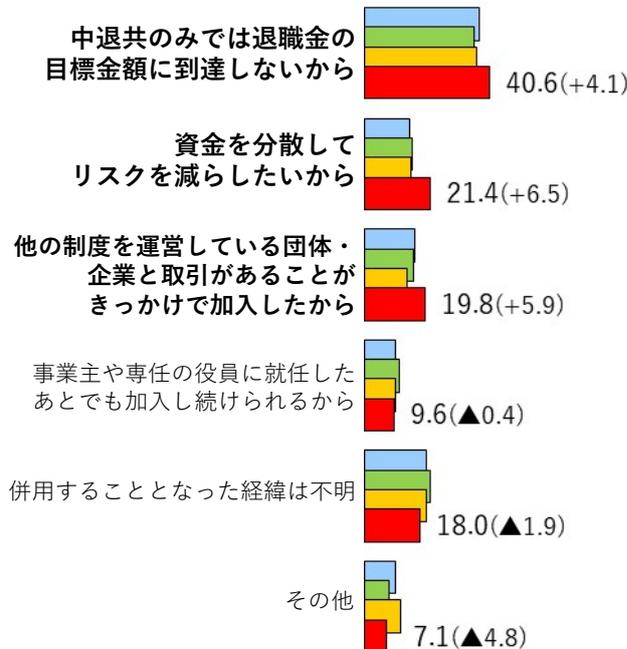
中退共と併用している制度の有無

(単一回答、%)



他の制度を併用している理由

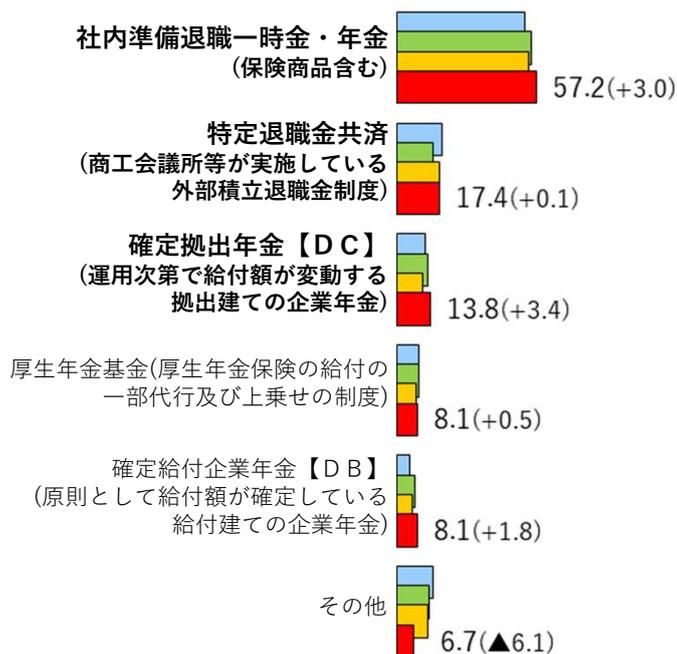
(複数回答、%)



※対象：併用している契約者

併用している制度の詳細

(複数回答、%)



※対象：併用している契約者

中退共について② ～ 中退共制度について

退職金制度の導入経緯・内容

中退共制度について

確実に退職金をお受け取りいただくために

ホームページについて

加入企業のご意見

中退共からのご案内

中退共制度の魅力（2024年）

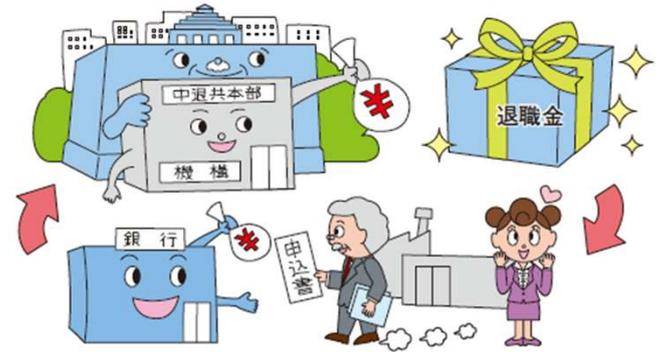
中退共制度の魅力は、退職金が確実に支払われる安心感、金銭面のメリット、制度導入のお手軽さ

中退共制度の魅力 TOP10

(複数回答、%)



国や自治体からの掛金助成や、短時間労働者や同居の親族が加入できる、といったメリットもあります



掛金を毎月払い込むだけです、事務負担が楽になり、管理コストの削減や節税にもつながります

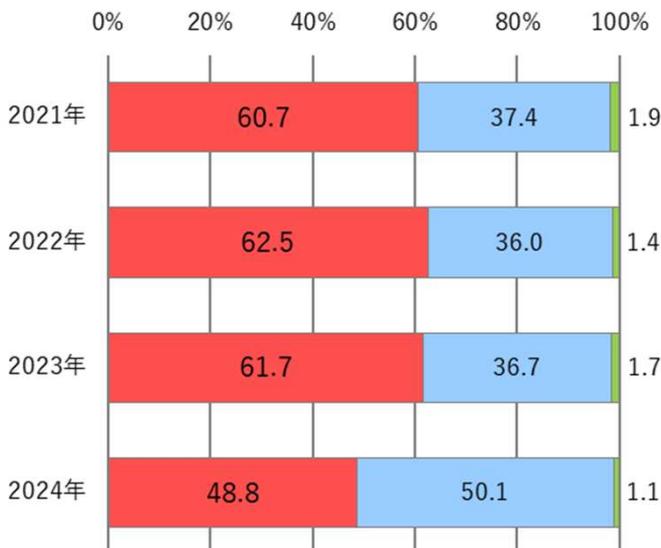
中退共制度の導入効果（2024年）

求人時に退職金制度をアピールする契約者が50%弱
事務負担の軽減や管理コストの削減といった具体的な効果が上がっている

求人時のアピール有無

(単一回答、%)

■ アピールした ■ アピールしなかった ■ 無回答



具体的な導入効果

(複数回答、%)



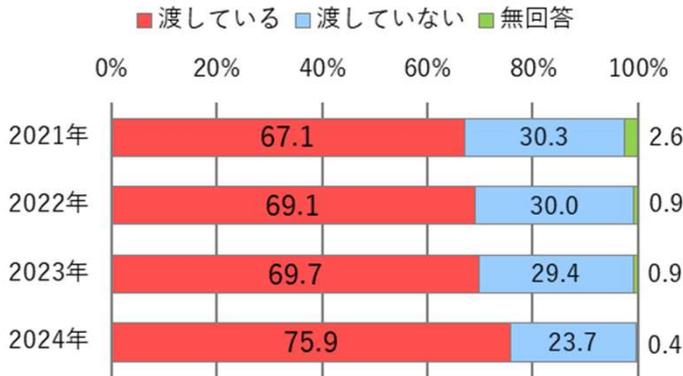
「加入通知書」の配布有無と理由

■ ※3年前 (2021年%) ■ ※前々回 (2022年%) ■ ※前回 (2023年%) ■ : 2024年%

加入通知書を渡す契約者は増加傾向も、引き続き20%強が「渡していない」
「渡していない」理由は引き続き「紛失を防ぐため」が最多

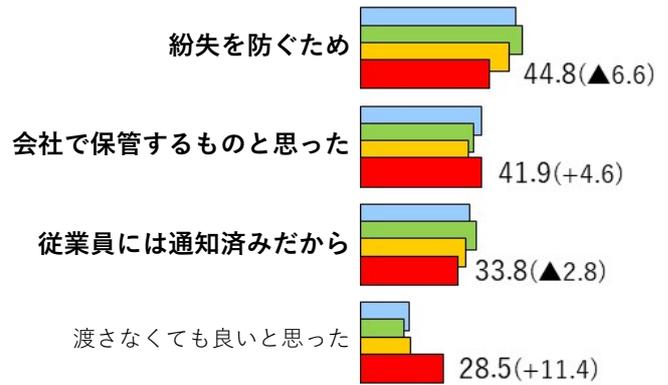
「加入通知書」の配布有無

(単一回答、%)



「加入通知書」を渡していない理由 TOP4

(複数回答、%)



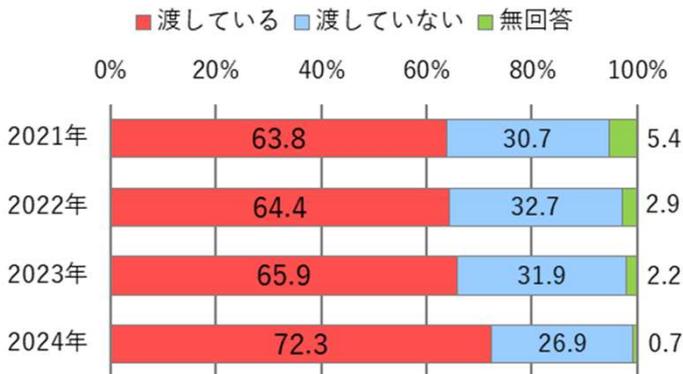
「加入状況のお知らせ」の配布有無と理由

■ ※3年前 (2021年%) ■ ※前々回 (2022年%) ■ ※前回 (2023年%) ■ : 2024年%

加入状況のお知らせを渡す契約者が増加傾向も、引き続き約1/4が「渡していない」
「渡していない」理由は引き続き「会社で保管するものと思った」が最多

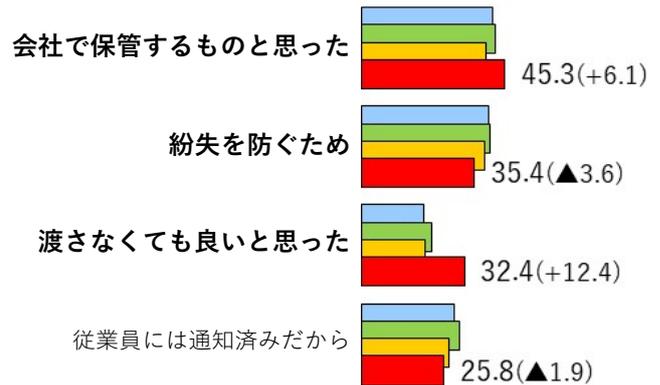
「加入状況のお知らせ」の配布有無

(単一回答、%)



「加入状況のお知らせ」を渡していない理由 TOP4

(複数回答、%)



「加入通知書」や「加入状況のお知らせ」はご本人へのお知らせで、
会社で保管するものではありません。

確実に退職金をお支払いするために

必ず従業員の皆さまにお渡してください！

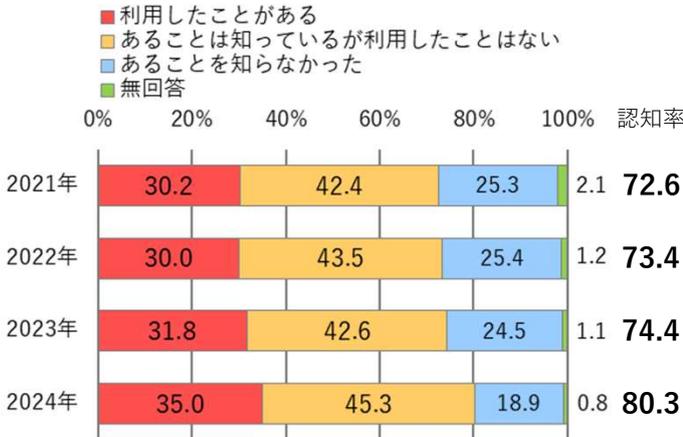


ホームページの利用実態

ホームページの認知率は80%へ上昇したが、利用したことがある方は35%
リニューアル後の直近1年以内に利用した方は約70%

ホームページ（PC版）の利用経験

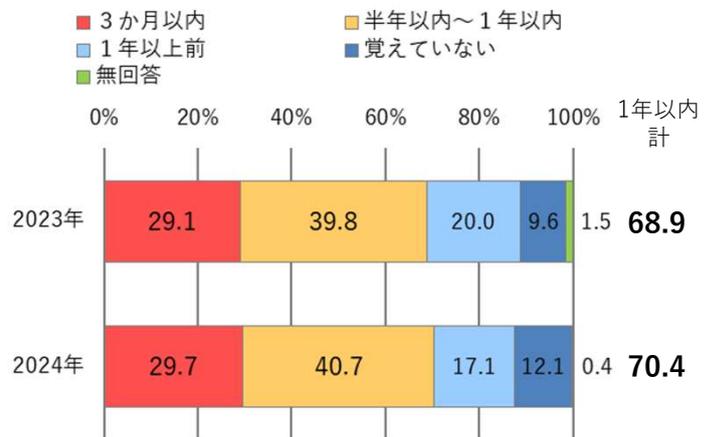
(単一回答、%)



※認知率 = 「利用したことがある」 + 「あることは知っているが利用したことはない」

直近の利用時期

(単一回答、%)



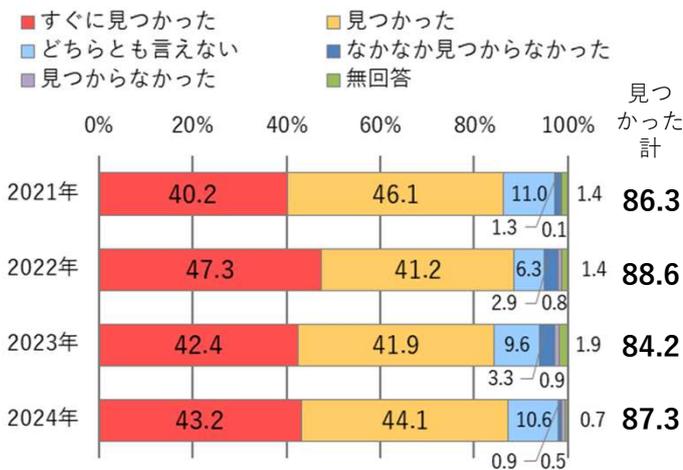
※対象：ホームページの利用経験あり

ホームページの使いやすさの評価

必要な情報の見つけやすさは90%弱、説明のわかりやすさも約75%が評価
リニューアル後の使い勝手は改善

必要な情報の見つけやすさ

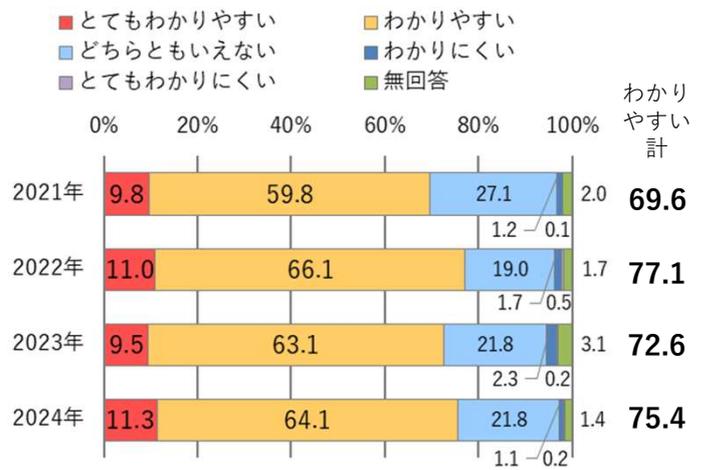
(単一回答、%)



※見つけた計 = 「すぐに見つかった」 + 「見つけた」

説明のわかりやすさ

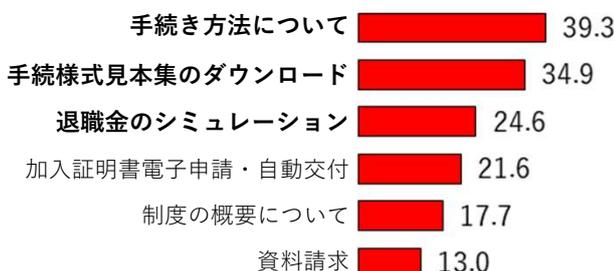
(単一回答、%)



※わかりやすい計 = 「とてもわかりやすい」 + 「わかりやすい」

利用内容 TOP6 (2024年)

(複数回答、%)



リニューアルで
使いやすくなった
ホームページを
ぜひご利用ください！

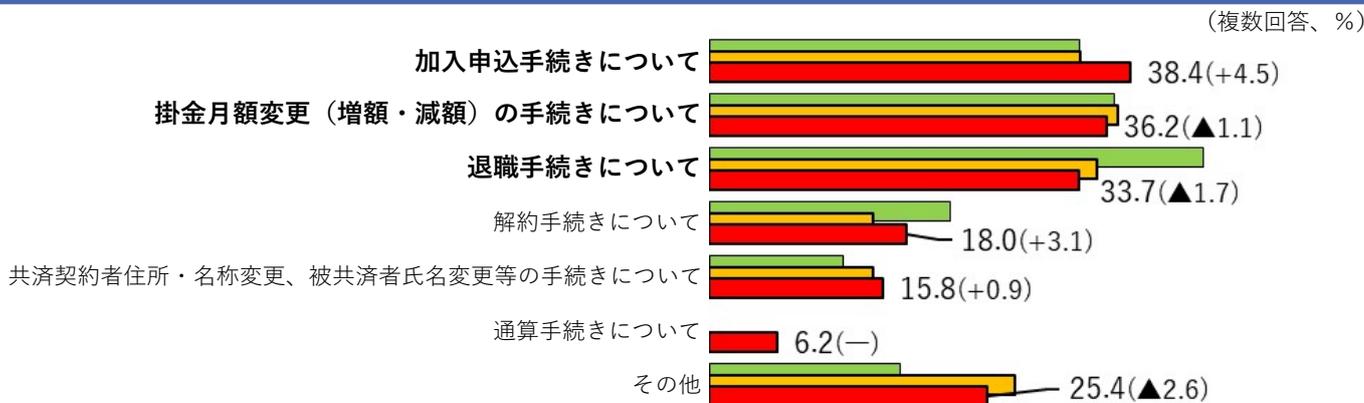


中退共の手続き方法に関するご意見

■：※前々回（2022年%） ■：※前回（2023年%） ■：2024年%

多いのは「加入申込手続き」「掛金月額変更の手続き」「退職手続き」に関するご意見

中退共の手続き方法に関するご意見・ご要望



「その他」では「WEBでの手続きを可能に」との要望が多く挙がりました



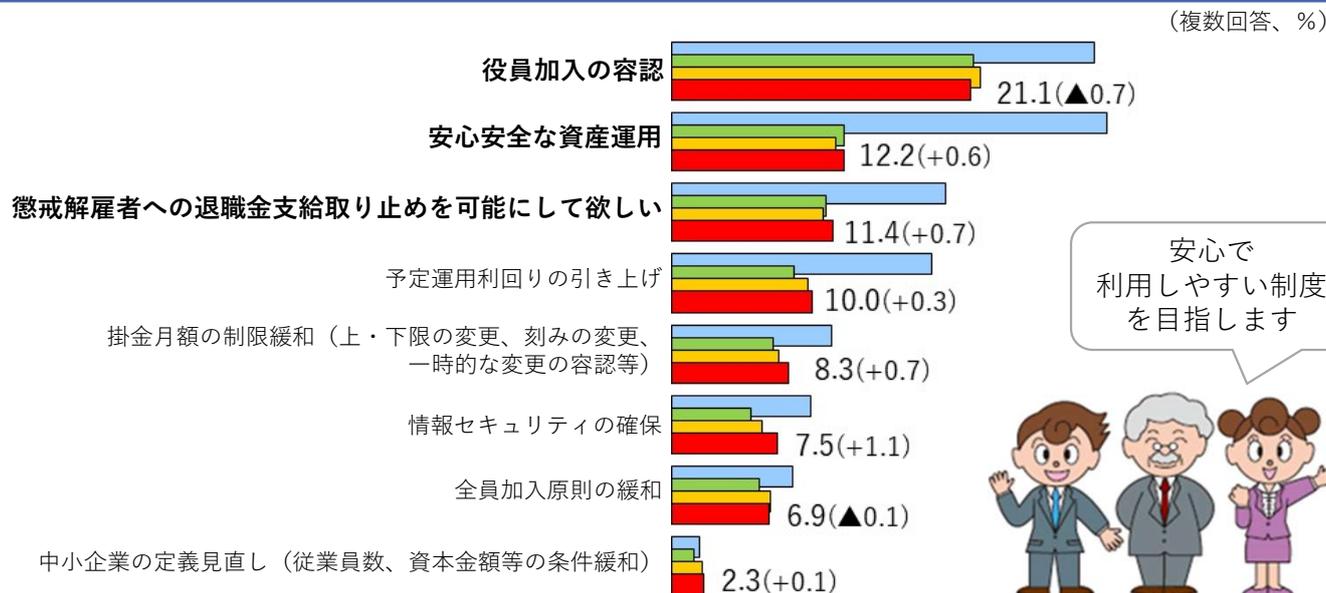
中退共制度へのご意見

■：※3年前（2021年%） ■：※前々回（2022年%） ■：※前回（2023年%） ■：2024年%

「役員加入の容認」が最多
「安心安全な資産運用」に関する要望も多い

※2022年から設けた「特になし」の選択肢に回答が集まった結果、全体的に数値が低下

その他中退共制度へのご意見・ご要望



安心して
利用しやすい制度
を目指します



中退共 検索

中小企業退職金共済事業本部

この概要版は、中退共のホームページに掲載しています
<https://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

[トップページ] > [情報公開] > [統計資料] >

[加入企業の実態に関する調査結果の概要]



**参加
無料**

オンライン説明会 開催中！

中退共制度の**加入条件**、**メリット**や**注意点**など、
加入をご検討中のお客様が**気になるポイント**を詳しくご説明いたします。

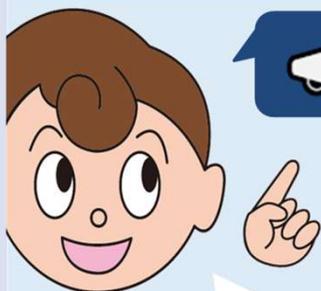
また、お問い合わせの多い**過去勤務期間通算制度**についても
分かりやすくご説明いたします。

当日は、**質疑応答**のお時間も設けておりますので、
制度内容や手続きについてご不明な点がございましたらご質問ください。

QRコードから
HPにアクセス！



加入者の皆様 から中退共へ寄せられた **声** をご紹介します！



退職金額の目安

掛金が
毎月10,000円
の場合

5年後 ▶ **608,200円**

10年後 ▶ **1,265,600円**

20年後 ▶ **2,666,600円**

※金額は法令の改正により
変わることがあります。

小規模の会社のため、従業員に対して
福利厚生が不十分であることが課題でした。
少ない掛金で、
長期間無理なく退職金を準備できる
中退共へ加入したことで従業員の
離職率も減ったと実感しています。

**会社の規模や状況に合わせて
掛金を設定できる**ところが良いです。
安心して、定年まで働いてもらえるための
大切な制度です。
経営者としては、**事務手続きが簡単**で
わかりやすいので助かっています。

従業員の**モチベーションの向上**に
役立っています。
長く働いている従業員からは、
退職金が増えていくのが楽しみ
との声を聞きます。
小企業のため、中退共制度を利用しないと
退職金の準備が難しいので、**これからも
加入し続けたい**と思います。

以前は中退共に加入していない会社で働い
ていましたが、今の会社は中退共に加入し
ていると聞いて**安心**しました。
家庭を支えるためにも、この会社で**長く
勤めていきたい**です。
会社への安心感、信頼があることで、
仕事の**モチベーション**もあがります。

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部

中退共 検索



<説明会に関するお問い合わせ先>

中小企業退職金共済事業本部 事業推進部加入促進課

TEL：03-6907-1234